

報告書目次構成案 検討メモ

2017年9月

(公財)日本都市センター研究室

【前回研究会の資料の再掲】

◇全体的な方針

・ モビリティ研究会の成果をどのようなメッセージとして発信するか？【独自性・新規性】

- 「2017年度現在で最新の事例集」という資料的価値
 - ◇ いずれも事例も公共交通の存続の危機から再生したという共通点
- 新たな計画技術の位置づけ(ビッグ・オープンデータ、移動体、ICカード)
- 自治体の公共交通政策に係る財政負担の実態と今後のあり方

・ 主な読者層

- 報告書の主な配布先は都市自治体の企画・政策部門と都市計画・交通担当課の職員
- 土木計画学・都市計画の専門家にも役に立つ本にできれば

・ 執筆分担の基本的な考え方

委員の皆様には、研究会にて話題提供いただいた内容を中心に、1~2章分の執筆をご担当いただく

- 文量目安：10,000~12,000字/章
- 主要な論点以外の各論についてはコラム的な位置づけで掲載することも検討

・ 部・章の構成について

- ① 理論編(学識者)―事例編(自治体・事務局)の二部構成(参考：2014年度 地域公共交通研究会)
- ② テーマ・論点別に理論と事例、アンケート分析結果を織り交ぜた構成
→出来れば②の構成で報告書を作成したい

◇目次構成(案)

I. 都自治体のモビリティ政策が生み出す新たな価値		
公共交通によって人が集まり交流する都市空間を作ることの意義と価値	谷口座長	
II. 近年の公共交通を取り巻く環境の変化		
地域公共交通網形成計画・立地適正化計画の策定状況と課題	高野	アンケート
運転手不足など地域が抱える具体的な課題	高野	アンケート
都市の特性と公共交通に関する課題の関係性	高野	アンケート
III. 公共交通機関存続の危機への対応(運営形態の転換・自治体の主体性)		
各事例の経緯(存続危機の契機～転換～継続・見直し)の概観	高野	
福井市：鉄道事業再構築による再生	酒井委員	
岐阜市：市内電車・市営バス廃止を契機としたバスネットワーク再編	青木委員	
四日市市：四日市あすなろう鉄道への転換：上下分離	高野	現地調査
(※高松市：高松琴平電鉄の民事再生)	高野	現地調査
IV. 総合的なビジョン・戦略(都市交通計画)に基づく都市計画—交通政策の連携		
市の総合的な政策方針、全体的な都市計画への公共交通政策の位置づけ	谷口座長	
公共交通施策と連携した都市計画(土地利用)行政のあり方	松川委員	
盛岡市：オムニバスタウン事業からの継続的な取組	高野	現地調査
姫路市：長期的な視点に立った交通戦略と空間整備	高野	現地調査
高松市：多核連携型コンパクト・エコシティと公共交通の再編	高野	現地調査
V. 交通計画を策定するための新たな計画技術とその実践		
政策立案・計画検討のための新たなデータ・手法	関本委員	
鯖江市：市全体のICT活用推進政策と公共交通の関係	高野	現地調査
ICカード利用データによる再編実施計画の随時見直しの実践	青木委員	
ICカードデータを活用している自治体の取組の概観	高野	アンケート
※ICカード生データを活用していると回答した自治体に追加アンケートを実施することも検討		
VI. 継続的な公共交通政策を可能にするシステム		
自治体の公共交通政策に係る公的支出と補助制度	高野	アンケート
公共交通を所管する自治体の体制	高野	アンケート
海外(ドイツ)における権限・財源・組織と多様な主体間の連携のあり方	土方委員	

- トランジットモール：歩行者と公共交通が共存する空間が生み出す価値
- 都市の類型化とそれぞれのタイプに対する交通政策のあり方(提言的なもの)
- 公共交通政策の目標となる指標の設定の仕方